

文化財建造物の保存修理を考える

第1回 シンポジウム「保存修理の理念とあり方」



2013年11月16日(土) 10:00~17:00 (開場 9:30)

東京大学 工学部2号館 213号大講義室

(右下地図参照) (東京都文京区本郷7-3-1)

参加費無料
(要・参加申込み)
定員300名

日本における文化財建造物の保存修理について、歴史を検証し、現状を把握して、その理念とあり方を検討する。あわせて、海外の状況も勘案し、保存修理をとおして見た日本建築の特質を考える。

主催：公益財団法人
文化財建造物保存技術協会
〒116-0013
東京都荒川区西日暮里2-32-15
☎ 03-6458-3614
FAX 03-6458-3617

後援：文化庁

司会進行 濱島正士 (文建協)
発表 (10:00~15:00)
①「保存修理の歴史」(仮題)
村上勲一 (文建協)
②「保存修理の現状-技術者の立場から」
(仮題) 高品正行 (文建協)
③「日本の保存修理-国際的見地から」
(仮題) 益田兼房 (文建協)
④「研究者が見る保存修理」(仮題)
藤井恵介 (東京大学)
⑤「保存修理の考え方」(仮題)
山岸常人 (京都大学)
討論 (15:00~17:00)

募集対象：文化財建造物修理技術者、文化財建造物保存修理に係わる設計監理者・施工者・文化財保存行政担当者・選定保存技術保持者等、関連分野の研究者・学生など

お申し込み

ホームページ上の申込フォームでご応募ください (10月25日<金>必着)。

www.bunkenkyo.or.jp/information
はがき、FAXにでも受付しております。
(先着順 / 住所・氏名・所属・電話番号を明記)

